

『馬の瞳』第七刊の挨拶を任せて頂いた宗像です。いつもご愛読ありがとうございます。
 季節は冬、冬といったら鍋と乗馬(?)雪もチラホラ降り始める季節となつてまいりましたが会員皆様も寒さに負けないで馬に乗ってあげてください。心頭滅却しても寒いものは寒いのですが馬に乗って体を動かしていれば心身ともに温まる事でしょう。
 もう少しで2005年もお終いです、やり残しのないように... (特に学生は宿題を...)
 それでは『馬の瞳(第七号)』を読んでください。



2005/12/18
 第7号

きらら募金

先月号で募集しました、きららの募金ですが集計した結果7,561円となりました。
 近日中に避妊手術を行います。募金して下さいました会員皆様ありがとうございました。

馬の紹介コーナー vol.7
 ザ・ルーク

ザ・ルーク 駒馬 サラブレッド
 1997年5月28日、北海道の鹿追町で父スナイパー、母チョウヒの間に生まれました、アングロアラブのザ・ルークです。A.R.Cには2001年の冬に来ました、それまでの名前は『ブラックチャンプ』です。
 この馬を紹介するにあたって言えることは「かわいい」です。顔立ちと言いつきといい全てがともかわいいです。よく前かきをして餌をねだりますが、激しすぎるので火花が散っています。見かけたら止めさせてください。
 さて、そんなルークですが、乗ってみると...やっぱりかわいいです。乗り心地は柔らかく反応も良いです。ただ、とても小心者なのでちょっとしたことで加速しやすいのが難点、そんな印象を持っている方いらっしゃると思います。乗り手が恐がらず落ち着いて乗っていれば馬も安心してゆっくり動きますので乗る機会がありましたらルークのかっこいさ、乗り心地を楽しんでみて下さい。



馬具のお話 vol.6

鞍下

会員さんのほとんどは既存の毛布を使用されていますが、より華麗なる乗馬にアクセントを加える要素、それが鞍下です。
 馬にフィットし鞍も付けやすくなる事請け合いのこの一品。
 馬を自分色に染めたい方、人とは違うオプションが欲しい方、より技術向上をはかる方、オシャレな鞍下でマイ乗馬ライフをさらに楽しみましょう。色も豊富です。
 詳しくはスタッフまでどうぞ

5000 ~ 10000円
 カラー 各社によって多種多様



今月の大会

2005年 愛知学生馬術大会

2005年12月22 ~ 23日にかけて愛知森林公園にて愛知学生馬術大会が開催されます。
 ARCからは空港乗馬倶楽部で活動している金城大学馬術部の部員が参加されます。
 健闘を祈り会員皆さん応援をお願いします。
 頑張れ気張れそして舞え! 華麗なる金城大学馬術部!!



ウィンターキャンプ開催

これが最後の告知です。
 近頃雪もチラホラな今日この頃、寒い寒いと家の中で丸くなっている少年少女集まれ！
 動いて遊んで学んで食べて、寒さを吹き飛ばそう！
 夏に参加した子も、まだ参加した事の無い子もARCで思いっきり楽しもう。
 冬のキャンプはこれが最初の試みだ！チャレンジャー精神を育みましょう



年末年始営業時間

年末年始の営業時間は通常と若干異なりますので御了承下さい。
 A.R.Cは年末年始いつでもお客様をお待ちしております。

- 12月29日 午前9時～午後7時30分 営業
- 12月30日 午前9時～午後7時30分 営業
- 12月31日 午前9時～午前12時 午後休み
- 平成18年1月1日 休業
- 1月2日 午前10時～5時30分 営業
- 1月3日 休業
- 1月4日 午前9時～午後7時30分 営業
- 1月5日 平常営業



彼女達の年がやってきた！



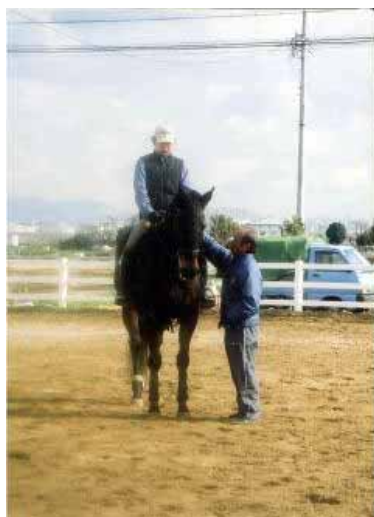
つくね



ちゃちゃ

平成17年度基礎乗馬技能巡回指導研修会

12月14、15、16日の三日間
 ここA.R.C空港乗馬倶楽部にて元オリンピック選手でナショナルクラスの中俣 修先生による、巡回指導研修会が開催されました。A.R.Cからは会長、星野、岸野、小島インストラクターが参加しました。それぞれ納得いく指導をご教授して頂き技術向上の実感を抱きました。今後もこの指導を元に日夜、馬術練習に励み会員さんの指導に反映していきたいとおもいます。
 東海地区乗馬倶楽部振興会
 会長 高田 大介



まったくしく何かに使った記憶がありません。高校生になった頃ようやく自分で管理して半分貯金、残りは何かに消えていった...そんな感じだったと思います。何かといってもおそらくゲームかマンガですな。(笑)

先月号では「Memories of the Kirara」が好評だったらしく(わからない方は先月号をお読み下さい)自分を嬉しい限りです。これからも皆様方に喜んでもらえるような記事を書いていきたいと思ひます。...がしかし！今回は少し読みづらいかも知れませんが、なぜかということからすこしだけ宗像君化するからです。覚悟ができたなら続きをお読み下さい。

C ワンインパンチ ナロウスパイク クロウバイツ ブラックアウト クロウバイツ ブラックアウト チェンドライブ...これで8割コンボの完成、ヒートモードになっていればありえない10割コンボ。これを実戦で決めたら拍手喝采大歓声まちがいなし！.....
駄文失礼しました、ここからはいつもどおりに進めようかと思ひます。

今月になってからさらに寒くなり昼間でもブルブルと震えております。さらにはぬくぬくと休憩室に入りびたり餌をねだる毎日かといつて外にだすとすぐに戻ってきってしまう有様...シロはたくましく生きてるなあ、うん！毛の生え方から違ひますね、今度見かけたら比べてみて下さい。シロちゃんはものすごくもっさりしてます。それに比べてさららの方はとてもサラサラしてます。まあ綺麗だからいいんですけどね。(笑)

今月の名言.....「遅い仕事は誰でもできる！」

伊藤大介の中部屋「俺はこうして巡って来た。Vol07」

この新聞が出る頃にはもう十二月の半ばを迎え今年もあとわずかとなり、年賀状の書き残しにラストスパートを掛けている人もいれば身の回りの整理をして新しい門出を迎える人もいるはずですが、2005年もあと少しで終わって2006年がやってきます(もしかしたら年明けに読んでいたかたもいるかもしれませんが...)、皆さんあと一踏ん張り頑張りましょう！！

てなかんじで本題です。前回書いた通り「白井君」について書きたいと思ひます。前回読んで頂いた方はわかると思うのですが、白井君は良い言い方をすれば甘えん坊。悪い言い方をすればわがままです。その駄目な方面が出てしまったのが前回の悲劇を生んだとゆうことです。しかしそんな彼にもたしか良い所はたくさん有りまして...まあ多すぎて面倒くさいので書きませんが...。そんなこんなで白井君は前期組なので研修が終了したら帰るはずなのですが、なぜか牧場長に騎乗技術(これは別に納得がいきます)と甘えん坊で云う事をしっかり聞く性格が気に入られ(なぜ?)そのまま研修先の牧場で働く事になりました。そんなわけでやっと白井君のワガママから解放されると思っていた僕とノリさんは...大喜び!(??)とゆうわけで白井君のワガママにほんろうされる僕ら前期組のお話はまだ続きます。

宗像義明の小言「参爛我利(さん・かん・が・り)」

刀鍛冶は一太刀の刃を精製する際に鉄醒ましの水を温度を弟子に見せないように調節します。鉄の芯をよりメソッド(鋭利)化する為にはまず磨耗を必要とします、その大役を担っているのが土師(鉄を叩くハンマー)と鉄醒まし、作業中、弟子が師匠の目を盗み鉄醒ましにの湯部に手を付けようものならその腕を叩き切り破門にしたというそれだけの重要性があったそうです。鉄を叩けばより繊細な波紋を刃に描き、「対象を斬る」に長けた大型包丁の出来上がり、それが当時の士(さぶらい)又は侍の半身だったのでしょ。

今で言う携帯電話や腕時計のような然も有り触れた携帯品だったのかもしれませんが、アメリカで銃の所持を許可されているような明日は我が身の日常、今の我々にとっては非日常以外の何物でもありません。

辻斬りもあればくだらない口論の結果、刀の錆になった人間も少なくないでしょう。当時はそれだけ『当然の日常』だったので。現在日本は銃刀法違反という命の尊重に重点を置いた処置が何点も存在します。ですが経緯や方法は違えど人は今も人を殺します。刀鍛冶が刀を作り誰かがその刀で人を殺したとしてもそれは刀鍛冶の責任にはならない。極論ですが事実です。参爛我利とは刀鍛冶の作り上げた名刀により殺戮された人々の恨みが刀鍛冶に向けられ火炙りにされたというお話。

何故か現在の社会情勢に似てなくはないか？ようは使う人次第で装飾品の名刀も殺戮に要点を置いた人斬り包丁に成り得るという事。

平和の為の抑止力with「核」と言っていますが 朝鮮がボタン一つで世界殲滅なんて事もあるわけで...季節同様冷たい時代なんですよ。はい、オチがないですね ようするに合宿所、眠れはしますが若干寒い...お後がよろしいようで

星野香菜の「自己紹介」

はじめまして！もうご存じの方もいらっしゃると思いますが、11月末から研修生として働くことになりました、星野香菜です。ちなみに、もう一人の星野さんとは赤の他人でございます。馬に関わる仕事がしたい！という思いがようやく叶い、日々頑張っています。最初はひたすら筋肉痛との格闘でしたが、最近ようやく慣れてきました。

馬に関わる仕事に就きたいと思ったのは、幼稚園の頃、毎週日曜日に競馬場へ連れて行かれたことがキッカケでした。わけも分からず、武豊騎手が乗っている馬を応援していた記憶があります。それからというもの、何をしても馬馬馬...。とにかく馬が大好きでした。

そして、ドリカムとお笑いチョコレートが大好きです。どれか一つでも欠けてしまったら私は生きていけないです。そんな世の中要らないです(....)もし、私も好き！って方がいらっしゃったら是非声を掛けてください。激しく喜んで食いつきます。熱くなってしまうても引かないでください。よろしくお祈りします。そんな私の悩みは、つくねたんが未だに懐いてくれないことです。もうここへ来て2週間経つのですが、一向に懐く気配が無いんです。そんな不審者扱いしないでください。犬は小さい頃からずっと飼っていたので扱いにも慣れてましたし、こんな懐かれぬことも無かったので軽くショックを受けてます。いや、ホントに。

こうなったら、つくねが私に慣れるのが先か、私が馬の扱いに慣れるのが先か競争したいと思ひます。なんか良く分からないですけど。

吉原聡さん投稿文「馬との出会い」 (会員さんです)

11月20日に技能認定試験(4級)を無事通過しました。さあこれで認定証が発行されたらすぐに外に行くぞといいたい所ですが今は寒いので楽しみは暖かくなる来年春以降にとっておきましょう。

さて本題に入ります。会員の皆様は何がきっかけとなり、馬に乗り始めましたか？人それぞれ色々なきっかけがあると思いますが、私の場合は4年前に友人に教えられた競馬からでした。好きな馬を応援し、的中の快感に浸っていた駆け出しの頃を過ぎ、コースを一新に走る馬の姿を見て自分も乗ってみたいと漠然と思ひ始めたのは3年前の夏のことでした。2年前に小牧市に来てからA.R.Cのことを知りましたが、当時は高額な費用に半ば諦めていました。でも、どうしても乗りたいと言う思いを断ち切れず、昨年夏に入会し現在に至ります。速さこそ強さという視点で馬を見ていた為、馬を早く走らせることに異常に執着している様に映ったかもしれませんが、なにとぞ御容赦下さい。

ディーブインパクトの無敗三冠達成に沸いた今年の中央競馬場でしたが、ラインクラフト(NHKマイル)、スイープトウショウ(宝塚記念)、ヘブンリーロマンス(天皇賞秋)の3頭が牡牝混合G1を勝ち、牝馬旋風が吹いたことも忘れてはいけません(11月20日現在で年間最多)。

さあクリスマスに発走する有馬記念で前述の無敗三冠馬が遂に古馬と対戦します。三冠の揃いで古馬を蹴散らすか、古馬の意地が無敗三冠馬に土をつけるのか、今から楽しみにしながらペンを置きたいと思ひます。